

令和 8 年度

第 1 学年版

シラバス

Syllabus

授業計画の概要



富士見市立富士見台中学校

富士見台中学校の学習と評価について

富士見市立富士見台中学校

1 富士見台中学校における観点別学習状況、評定について

各教科には、それぞれ評価する観点（全教科とも3観点）が決められています。その観点にそって、一人ひとりの学習状況が評価規準に基づきA、B、Cで評価されます。そして、各学期の終わりに総括して5段階評定が決められます。

2 観点別学習状況の評価と評定の考え方について

観点別学習状況評価については、文部科学省から、「A」は十分満足できると判断されるもの、「B」はおおむね満足できると判断されるもの、「C」は努力を要すると判断されるものと示されています。なお、評価規準は、各教科の特性によって違うので教科から説明があります。また、評定については「5」は十分満足できると判断されるもののうち、特に高い程度のもの、「4」は十分満足できると判断されるもの、「3」はおおむね満足できると判断されるもの、「2」は努力を要すると判断されるもの、「1」は一層努力を要すると判断されるものと示されています。

3 富士見台中学校の評価から評定への総括についての基本的な考え方

「2 観点別学習状況の評価と評定の考え方について」をもとに、評定について、以下のようになります。

観点別評価 (3観点A,B,C)	評定 (5,4,3,2,1)
AAA	5or4 *
AAB	4
ABB、BBB ABC、BBC	3
BCC	2
CCC	2or1 *

* 「5」は十分満足できると判断されるもののうち特に高い程度のものに対して、「A」は十分満足できると判断されるものとなっていることから、観点が「AAA」でも「4」である可能性があります。同様に「CCC」が「2」である可能性もあります。

評価規準は教科担当から説明があります。

4 普段の学習活動が評定の大切な資料となります

評価評定は、定期テストの点数だけでは決まるものではありません。普段の学習への取組（授業での成果）も評価に反映されます。例えば、宿題や提出物、ノートやプリント、小テスト、作品、実技テスト、授業での取り組みや発表、時には忘れ物の有無や授業態度などが評価の資料となります。

5 観点別評価について

「知識・技能」の評価

○個別の知識及び技能の習得状況について評価する。

「思考・判断・表現」の評価

○知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力・判断力・表現力等が身についているかを評価する。

「主体的に学習に取り組む態度」の評価

○「粘り強く学習に取り組む態度」及び「自ら学習を調整しようとする態度」とを総合的に評価する。

第1学年国語科シラバス

1、教科の目標・身につけたい力

- 【興味・関心】…言葉の面白さを知り、日本語の奥ゆかしさを感じる
- 【話す、聞く】…自分の考えを大切にし、目的や場面に応じて的確に話したり聞いたりする能力を高める
- 【書く】……… 必要な材料を基に自分の考えをまとめ、的確に書き表す能力を高める
- 【読む】……… 様々な種類の文章を読み、内容を的確に理解する能力を高める
- 【言語事項】… 漢字や文法などの基礎的な言語事項を身につける

2、主な学習の内容

- ・小説、随筆、説明文、古典など様々な文章の朗読および読解。
- ・思ったこと考えたことの文章化（作文）や発表。
- ・文章の読解に必要な基礎学力（漢字、文法等）の習得。
- ・学習内容の理解度を図る確認テスト（中間・期末テスト等）



評価の観点と方法

1、評価の観点

- ① **知識・技能** B：言語についての基礎的な知識があり、場合に応じてある程度使いこなすことができる。文章やスピーチからある程度内容を理解することが出来る。
- ② **思考・判断・表現** B：文章やスピーチに対しての自分の考えや意見を持ち、言葉で伝えることが出来る。
- ③ **主体的に取り組む態度** B：授業の準備がなされている。提出物をやり終えて、期限までに出せる。授業中の発言・発表・態度が意欲的である。定期テストで授業の内容をある程度理解出来ている。

※Bの評価は観点の内容がおおむね満足できると判断されるものです。AはB以上に十分満足、CはBよりも努力を要すると判断されるものです。

2、評価の方法

- ◎ テスト（中間・期末・漢字テスト等の結果による到達状況）
- 授業における活動（意欲・態度・発言・予習・復習状況）
- 学習の成果および提出物（授業で書いたもの・ノート・ワーク等）
- スピーチ（発表および原稿の内容）

授業の心構えは…

- ・忘れ物をしない。
- ・積極的に発言する。
- ・予習、復習を心がける。

授業に準備するものは…

- ・教科書
- ・ノート
- ・筆記用具
- ・その他先生から指示されたもの
ワーク・辞書等

各学期の学習です

	1 学期	2 学期	3 学期
主な学習内容	・朝のリレー ・言葉に出会うために ・野原はうたう 1 学びをひらく ・はじまりの風 ・話の構成を工夫しよう [言葉1] [漢字1] 2 新しい視点で ・ダイコンは大きな根？ ・ちょっと立ち止まって ・情報を整理して説明しよう [言葉2] ・情報を集めよう ◎書写—硬筆 3 言葉に立ち止まる ・空の詩 三編 ・比喩で広がる言葉の世界 ・語彙を豊かに [言葉3] [文法への扉1] ・情報収集の達人になろう	4 心の動き ・大人になれなかった弟たちに… ・星の花が降るころに ・聞き上手になろう [言葉4] [漢字2] 5 筋道を立てて ・「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ ・根拠を示して説明しよう ・話題や展開を捉えて話し合おう ・大阿蘇 6 いにしえの心につれる ・古典の世界 ・いろは歌 ・蓬萊の玉の枝—「竹取物語」— ・今に生きる言葉 7 価値を見いだす ・「不便」の価値を見つめ直す ・話題や展開を捉えて話し合おう ◎書写—毛筆（書きぞめ）	8 自分を見つめる ・少年の日の思い出 ・二十歳になった日 ・構成や描写を工夫して書こう [文法への扉3] [漢字3] ・一年間の学びを振り返ろう ・ぼくがここに



第1学年社会科シラバス

1. 教科の目標

- ＜歴史的分野＞ 日本の歴史を理解し、社会で役立つ人を育てる。
- ＜地理的分野＞ 世界の国々や、日本の国土について理解を深める。

2. 主な学習の内容

- ＜歴史的分野＞ 歴史のとらえ方 古代までの日本 中世の日本
- ＜地理的分野＞ 世界と日本の姿 世界のさまざまな地域

3. 身につけたい力

- 日本の歴史について、基本的な知識を身につける。
- 国際社会に生きる日本人としての資質（知識・能力・行動する力）を養う。

授業の心構えは…

- 積極的に発言する
- 忘れ物をしない
- おしゃべりをしない
- 話をよく聞き、自分の頭で考える

授業に準備するものは…

- 教科書、資料集、地図帳
- ノート（A4）、タブレット
- 授業が始まる前にきちんと準備しておきましょう

評価の観点と方法

評価の観点と方法

○3つの観点による評価

・知識・技能…テスト

- 地理 世界の諸地域について地域の特色を理解し、諸資料から地理に関する様々な情報をまとめている。
- 歴史 歴史の大きな流れを把握、各時代の特色を理解し、諸資料から地理に関する様々な情報をまとめている。

・思考・判断・表現…テスト、ノート、話し合い活動、調べ学習の成果物

- 地理 地理に関わる事象の意義や特色、分布、位置などを関連させて考え、多面的・多角的に考察する。適切な資料を選択し、考察したことを説明したり、それらを基に議論している。
- 歴史 歴史に関わる事象の意義や特色、伝統や文化などを年代、推移、比較したり、関連や現在とのつながりに着目し、多面的・多角的に考察する。適切な資料を選択し、考察したことを説明したり、それらを基に議論している。

・主体的に学習に取り組む態度…ワーク、テスト、ノート、話し合い活動、調べ学習の成果物

よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追求、解決しようとしているかどうかを授業、定期テスト等で評価していく。

※Bの評価は観点の内容がおおむね満足できると判断されるものです。AはB以上に十分満足、CはBよりも努力を要すると判断されるものです。

各学期の学習です

	1 学期	2 学期	3 学期
主な学習内容	＜地理＞ ○世界と日本の姿 ○世界各地の人々の生活と環境 ＜歴史＞ ○歴史へのとびら ○古代までの日本	＜地理＞ ○世界の諸地域 アジア州 ヨーロッパ州 アフリカ州 北アメリカ州 南アメリカ州 オセアニア州 ＜歴史＞ ○古代までの日本 ○中世の日本	＜歴史＞ ○中世の日本 ○近世の日本

家庭学習のポイント

1. その日に学習した要点を教科書、ワークで確認する。重要語句とその意味を必ず調べ、まとめておく。
2. ノートは黒板の内容を写す以外にメモ欄を作成し、自分で調べたことをまとめる。
3. 復習を中心に学習を進め、テストの間違いは必ず見直し、基礎・基本の定着を確実にする。

第1学年数学科シラバス

1、教科の目標

- ◎学習手順を丁寧に押さえ、基本的な知識や能力が確実に身につくようにする。
- ◎数学的な感覚を大切に、生徒にわかりやすく親しまれるようにする。
- ◎計算力を高め、基本図形の性質を習熟させる。

2、主な学習の内容

- ・正の数と負の数 ・文字と式 ・一元一次方程式 ・変化と対応 ・平面図形
- ・空間図形 ・データの活用

3、身につけたい力

- ・数学的見方、考え方を育てる。
- ・必要感を持たせ、基礎的知識を身につける。

評価の観点と方法

1、評価の観点

① 数学的な知識・技能

- B：・数学の知識を正しく理解し、表現することができる。
・数学的な処理が素早く正確に表現することができる。
・定期テストの知識・技能を問う問題の正答率が高い。

② 数学的な思考力・判断力・表現力

- B：・課題に対し、知識を活用し、考えた過程や結果をまとめ表すことができる。
・定期テストの見方・考え方を問う問題の正答率が高い。

③ 主体的に学びに向かう態度

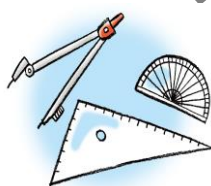
- B：・提出物をやり終えて、期限までに毎回出せる。
・授業中の発言・発表が意欲的である。
・定期テストの正答率が高い。

各観点の評価は上記の内容を総合的に評価する。

※Bの評価は観点の内容がおおむね満足できると判断されるものです。AはB以上に十分満足、CはBよりも努力を要すると判断されるものです。

2、評価の方法

- ・毎時間の授業への取り組み、定期テストの結果、小テスト
- ・授業ノートや授業ファイルの内容、提出物の状況・自己評価などを基にして、総合的に評価する。



授業について

- ・基本的に教室で授業を行います。定期的に支援員さんがきて補助していただきます。

授業の心構えは…

- ・授業の準備をしっかりとる。
- ・目的と意欲を持って授業に臨む。
- ・創意工夫してノートにまとめる。
- ・積み重ねの教科なので、自宅学習（特に復習）をする。

授業に準備するものは…

- ・教科書
- ・ノート
- ・ワークブック
- ・その他、単元ごとに必要な道具

各学期の学習です

	1 学期	2 学期	3 学期
主 な 学 習 内 容	1章 正の数・負の数 ・正の数・負の数 ・正の数・負の数の計算 ・数の世界のひろがり と四則計算、素因数分解	3章 方程式 ・方程式の解の意味と解き方 ・方程式の利用 ・比と比例式	5章 平面図形 ・直線図形と移動 ・基本の作図 ・円とおうぎ形
	2章 文字の式 ・文字を使った式 ・文字式の計算 ・関係を表す式	4章 変化と対応 ・関数関係の意味 ・比例 ・反比例 ・比例・反比例の利用	6章 空間図形と図形の計量 ・立体と空間図形 ・立体の表面積と体積 ・球の表面積と体積 7章 データの活用 ・データの傾向をとらえ説明しよう

家庭学習のポイント

1. その日に学習した内容を教科書で確認し、教科書や問題集の練習問題を解く。
2. ノートは、黒板の内容を写すだけでなく、先生の話聞きながらメモをとる。また、疑問に思ったところにしるしをつけておき、授業後などにすぐに聞きに行く。
3. 復習を中心に学習を進め、テストで間違えたところは必ずやり直し、基礎基本の定着を確実にする。

第1学年理科シラバス

1、教科の目標

- * 自然に対する関心を高め、目的をもって観察・実験を行い、科学的に調べる能力と態度を育てるとともに、自然に対する理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。

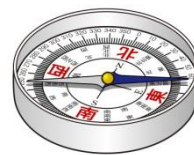
2、主な学習の内容

身のまわりの物質

いろいろな生物とその共通点

光・音・力によるエネルギー

活きている地球



3、身につけたい力

- * 自然の観察や自然にはたらきかける実験を通じて自然科学の基礎的な概念や法則を習得する。
(なぜだろう? どうしてだろう? もしこうしたらどうなるのだろう?)
- * 自然のしくみや規則性のすばらしさを知り、自然を大切にし、生命を尊重する態度を身につける。

評価の観点と方法

1、評価の観点

○ 知識・実験

定期テスト、小テストの点数。 実験・観察の基本操作ができる。

○ 思考・判断・表現

発問や課題を的確にとらえ、表現できる。

実験・観察の技能習得と図表を的確に読み、表すことができる。

○ 主体的に学習に取り組む態度

提出物がきちんと出せる。

理科に対しての興味・関心があるかどうか。(振り返り表)

小テスト・定期テストの点数

※Bの評価は観点の内容がおおむね満足できると判断されるものです。AはB以上に十分満足、CはBよりも努力を要すると判断されるものです。

2、評価の方法

- 授業における活動(意欲・態度・発言・実験観察の技能)
- 提出物(実験観察の報告書・ノート・ワーク等)
- 定期試験(出題内容により思考・技能・知識を評価)

授業の心構えは…

理科が好きで得意になるために

- 日常生活の中で不思議に思った事やすばらしいと思った事を書き留めておき、機会を見て調べる習慣を身につける。
- 積極的に授業に取り組み、予想→実験観察→結果の考察 この考え方の展開を身につける。

授業に準備するものは…

- 教科書、問題集など。
最初の授業で、担当教諭から伝えます。
- 実験観察等で必要なもの
※理科で実験を行うときは、ジャージ・体操着で!

各学期の学習です

	1学期	2学期	3学期
主な学習内容	1、いろいろな生物とその共通点 ・身のまわりの生物の観察 ルーペや顕微鏡の使い方 ・花のつくり アブラナとマツの花 種子をつくらない植物 ・動物の特徴と分類 動物の体のつくりと生活 セキツイ・ムセキツイ動物の分類 動物の分類 ・実験器具の説明	・いろいろな気体のその性質 ・水溶液の性質 ・物質のすがたとその変化 4、光・音・力による現象 ・光による現象 光の進み方、光の特徴 レンズの働き ・音による現象 音の伝わり方、音の大小と高低 ・力による現象 力のはたらき、ちからの大きさのはかり方 重さと質量 1つの物体に2つの力がはたらくとき ・まとめ	2、活きている地球 ・身近な大地 大地について ・ゆれる大地 地震のゆれ ・火を噴く大地 火山の噴火 マグマの性質と火山 マグマからできた岩石 ・語る大地 地層のでき方 化石と大地の歴史 ・大地の恵みと災害
	3、身のまわりの物質 ・いろいろな物質とその性質 物質の区別、重さ体積の区別		



第1学年音楽科シラバス

1、教科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。

2、主な学習の内容

・歌唱 ・器楽 ・創作 ・鑑賞

3、身につけたい力

・さまざまな音楽体験を通して意欲を養い、音楽に親しむことができる。また基本的な技能を身に付けることができる。

評価の観点と方法

1、評価の観点

① 知識・技能

- ・曲想と音楽の構造や背景などとの関わりおよび音楽の多様性について理解している。
- ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、歌唱、器楽、創作で表している。

② 思考・判断・表現

- ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図を持ったり、音楽を評価しながら良さを味わって聴いたりしている。

③ 主体的に学習に取り組む態度

- ・音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

2、評価の方法

- ・出席状況
- ・授業中の課題に取り組む態度
- ・授業中の話し合い活動・発言・発表の様子や内容
- ・授業中の演奏の様子・内容
- ・自己評価カード等の提出の様子や記録してある内容
- ・鑑賞プリントの提出の様子や記録してある内容
- ・筆記試験・実技試験

授業の心構えは…

- ・美しさを追い求める心
- ・力を合わせて音楽を作ろうとする心
- ・さらにより表現をしようとする心
- を持って音楽室に来ましょう

授業に準備するものは…

- ・教科書（歌唱・器楽）
- ・合唱曲集
- ・アルトリコーダー
- ・配布されたプリント（ファイルを使用します。）
- ・筆記用具 など



各学期の主な学習内容

	1 学期	2 学期	3 学期
主な学習内容	・校歌(表現) ・夢の世界を(表現) ・アルトリコーダーLesson 1(表現) ・イメージと音楽(表現) ・春 第1楽章(鑑賞)	・クラス自由曲(表現) ・赤とんぼ(表現) ・アルトリコーダーLesson 2(表現) ・リズムアンサンブル(表現) ・魔王(鑑賞)	・浜辺の歌(表現) ・日本の音楽(表現) ・アルトリコーダーLesson 2 ・アジアの諸民族の音楽(鑑賞)

第1学年美術科シラバス

1、教科の目標

「つくること」「味わうこと」などの美術の活動を通して、その喜びを味わい美術を愛好する心を育てるとともに、美術の基礎的な力を伸ばし、豊かな感受性や情操を養います。

2、主な学習の内容

美術の分野は、絵や彫刻、デザイン、工芸、鑑賞に分かれています。本物のように、また心に浮かぶままに制作したり、生活に使うものや飾るものなどを制作します。素晴らしい作品や工芸を見て味わうことも美術科の大切な学習です。

「私たちの生活から離れた美術とはならないように」ということを考えながら、指導しています。

3、身につけたい力

- (1) 意欲的に、また根気強く授業に取り組む力
- (2) 自分から美しさや楽しさや発見し、工夫して制作し表現する力
- (3) 私たちを取り巻くものの美しさや楽しさを感じ取り、生き生きと表現する力



評価の観点と方法

1、評価の観点

- ①**知識・技能** 造形的な視点について理解している。
・表現方法を創意工夫し、創造的に表している。
- ②**思考・判断・表現** 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。
- ③**主体的に学習に取り組む態度** 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。

2、評価の方法

- 出席状況
- 作品そのものの評価（ワークシートも含む）
- 授業の様子、課題に取り組む態度
- 自己評価カードの記録、内容
- 鑑賞プリントの記述内容
- 定期テストは実施していません

授業の心構えは…

- 楽しく、そして自分に厳しく！
 - ・集中し、最後まであきらめずに制作しよう。
 - ・忘れ物をなくそう。
 - ・おしゃべりをつつしもう。
 - ・作品や用具を大切にしよう。
 - ・後始末をきちんと行なおう。
 - ・持ち物や作品に名前を書こう。

授業に準備するものは…

- 教科書、資料集、アクリル絵の具のセット、スケッチブックなどが1年生の始めに配布されます。美術は題材によって持ち物が変わりますので、教師の指示をよく聞いて忘れ物のないようにしてください。

各学期の学習内容です

	1 学期	2 学期	3 学期
主な学習内容	○「美術科」の案内 ○色ぬりの学習 ・色彩の学習、 ・アクリル絵の具の使い方 ○様々な紙を利用したコラージュ制作（貼り絵）	○楽しい模様を描こう（デザイン分野） ○和菓子制作（樹脂粘土）（立体分野）	○屏風絵制作（絵画分野） ○色彩の学習2 ○鑑賞

※制作進度によっては内容が変更、追加になることがあります。

富士見台中学校 第1学年「保健体育」シラバス

【教科の目標】

☆運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動・体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身につけるようにする。

☆運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。

☆運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。

★「体育分野」と「保健分野」とともに全学年必修

【評価の観点・方法】

評価を行うための3つの観点

運動や健康/安全についての

- ①知識および技能
- ②思考、判断、表現
- ③主体的に学習に取り組む態度

〈これらの観点を評価する資料〉

- ①について
 - ・運動の特性とルール of 習得
 - ・定期テスト
 - ・授業での観察（練習・ゲーム）
 - ・種目に応じた技能・スキルテスト
- ②について
 - ・自己やグループでの課題を解決するための練習、その中での工夫・修正等の気づき、他者との関わり等
- ③について
 - ・授業に向かう姿勢（出欠状況・態度・安全性等）
 - ・発言や学習カードによる記述

	学習内容	学習のねらい
1 学 期	授業規律の確立 体育理論(1) 【体づくり運動】 (新体力テスト) (体育祭練習) 【器械運動】 (マット運動) 【陸上競技】 (短距離・リレー) 保健分野 *健康な生活と疾病の予防 【水泳】 (クロール/平泳ぎ/背泳ぎ)	*授業のきまりや準備運動等の確認 *運動やスポーツの必要性和楽しさ *各運動のねらい(体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを持続する力)を理解する。 *回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに行いまたそれらを組み合わせる。 *クラウチングスタートを活かしたスピードと効率的なバトン受け渡しを身につける。 *健康の成り立ちと生活習慣を学ぶ *能力別に分かれ、各課題に取り組む。また記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、各泳法を身につける。
2 学 期	【体育理論】(1) 【武道・ダンス】 ・柔道 ・ダンス(創作ダンス) 【陸上競技】 長距離走 保健分野 *心身の機能の発達と心の健康	*運動やスポーツへの多様な関わり方 *基本動作や安全な受け身を習得し攻防の展開ができるようになる。 *多様なテーマからイメージをとらえ動きに変化をつけ即興的に表現する。 *正しいフォーム、呼吸法を学びペースを守り一定の距離を走れるようになる。 *年齢に伴う心身の機能や発達を学ぶ (体の発育・発達)
3 学 期	【体育理論】(1) 【球技Ⅰ】 ・ソフトボール ・バレーボール 【球技Ⅱ】 サッカー 保健分野 *心身の機能の発達 心の健康	*運動やスポーツの多様な楽しみ方 *ボール操作を身につけ仲間と連携した動きでゲーム展開ができるようになる。 *心の健康を保持増進する方法を(欲求の発達とストレスの対処)

第1学年 技術・家庭科シラバス

1、教科の目標

生活に必要な基礎的な知識と技術の習得を通して、生活と技術との関わりについて理解を深める。

2、主な学習の内容

- ・材料と加工に関する技術(A分野)・生物育成に関する技術(B分野)
- ・家庭生活と家族・生活の自立と衣食住

3、身につけたい力

学習した知識や技術をもとに生活と技術の関係について考え、工夫し創造しながら実際に生活の中で生かす態度を身につける。

評価の観点と方法

1、評価の観点

- ・生活の知識・技能
生活と技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身につけている。
- ・生活の思考力、判断力、表現力
生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして、課題を解決する力を身につけている。
- ・主体的に学習に取り組む態度
よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

2、評価の方法

- ・授業の準備、様子
- ・学習ノート、プリントのまとめ方
- ・製作の様子、取り組み姿勢、完成度
- ・ペーパーテスト、実技テスト
- ・制作の期限、まとめ方



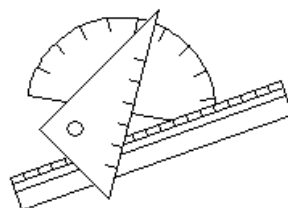
※1学期の評定は行わず、2学期に技術科、3学期に家庭科の評価が記載されます。
学年評価は技術科と家庭科をあわせて行います。ただし5と3で4とは限りません。
全体的な取り組み結果から判断します。

授業の心構えは…

- ・意欲を持ち、安全に気を付け積極的に取り組む。

授業に準備するものは…

- ・教科書・ファイル・筆記用具・定規・ジャージ上下
- ・ワークノート
- ・裁縫道具



1年間で学ぶこと

主な学習内容

- ・生活とものづくりの技術
- ・材料の性質と木材の加工方法
- ・設計図の制作と理解

- ・ミニトマトの育成
- ・育成環境の最適化
- ・生物育成の技術を用いた問題解決



- ・いろいろな工具の利用
- ・木工を使った作品製作

- ・私たちの家族と家庭生活
- ・家庭生活と地域
- ・T.P.O.を踏まえた着方の工夫

※前期： 4月～10月（技術）
後期： 10月～ 3月（家庭）

- ・日常着の活用と手入れと補修
- ・基本的な縫い方の習得
- ・布の利用製作



第1学年英語科シラバス

1、教科の目標

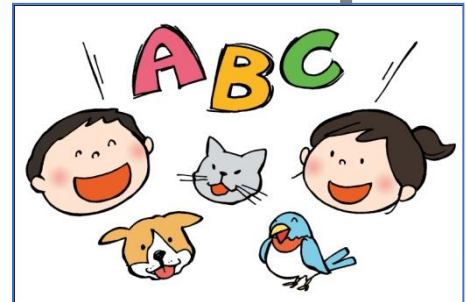
- 英語に親しみ、積極的にコミュニケーションを図ろう。
- 基本的な文法事項を習得しよう。

2、主な学習の内容

基本的な文法事項及びコミュニケーション活動

3、身につけたい力

身の回りのことを簡単な英語で表現できること



評価の観点と方法

1、評価の観点

○知識・技能

- B英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。
- B日常的な話題や社会的な話題について内容を捉え、自分の考え、気持ちなどを伝え合う技能を身につけている。

○思考・判断・表現

- B目的や場面、状況などに応じて、必要な情報を捉え、自分の考え、気持ちなどを伝え合うことができる。

○主体的に学習に取り組む態度

- B外国の文化に対する理解を深め、話し手、聞き手に配慮しながら、主体的に英語を理解しようとしたり伝えようとしたりしている。

授業の心構えは…

やる気・元気・根気

授業に準備するものは…

教科書・ノート・ファイル
問題集

授業について

一人ひとりの力を伸ばすために、ペアワーク、グループワーク等、学習形態を工夫します。

※Bの評価は観点の内容がおおむね満足できると判断されるものです。AはB以上に十分満足、CはBよりも努力を要すると判断されるものです。

2、評価の方法

・授業参加への意欲、態度 ・提出課題 ・定期テスト ・小テスト ・パフォーマンステスト（スピーチ、スピーキングテストなど）などの各評価材料を、各観点の評価に使用していきます。そして、3つの観点を総合的に評価して、評定を出します。（各評価材料については、その内容によって、特定の観点について重みづけするものもあります。）

各学期の学習です

	1 学期	2 学期	3 学期
主な学習内容	教科書 Unit0～4 Classroom English フォニックス be 動詞、一般動詞 can this, that what, who などの疑問文 命令文 など	教科書 Unit5～8 3人称単数現在形のs 代名詞 which, when などの疑問文 現在進行形 感嘆文 want to look+形容詞 など	教科書 Unit9～10 一般動詞の過去形 be 動詞の過去形 There is, There are の文 過去進行形 など
	Stage Activity 1 自己紹介ポスターの作成	Stage Activity 2 好きな有名人や憧れの人	Stage Activity 3 思い出の行事

第1学年道徳科シラバス

教科の目標

道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

評価の観点・資料・評定

【評価の観点】

①道徳的心情

道徳的価値の大切さを感じ取り、人間としてのよりよい生き方を考えることができる。

②道徳的判断力

人間として生きるために道徳的価値が大切なことを理解し、様々な状況下において人間としてどのように対処することが望まれるかを判断することができる。

③道徳的实践意欲と態度

道徳的判断力や道徳的心情を基盤とし、道徳的価値を実現しようとすることができる。

【評価の資料】

①教師の授業中の観察や事後の分析

②ワークシートの記述

③生徒による自己評価

【評定】

「道徳」では、数値的な評定は行わない。

授業の心構え

- ・道徳的価値について考える。
- ・自分の意見に自信をもつ。
- ・自分の意見を見つめ直す。
- ・他者の意見を認める。
- ・新しい見方、考え方を取り入れる。
- ・悩むことを受け入れる。

授業に必要な物

- ・教科書
- ・筆記用具
- ・その他教師から指示、配布された物

各学期の学習

	1 学期	2 学期	3 学期
主 な 学 習 内 容	1 「どうせ無理」という言葉に負けない	13 いのちって何だろう	27 靴
	2 本が泣いています	14 決断！ 骨髄バンク移植第一号	28 古都の雅、菓子的心
	3 朝市の「おはようございます」	15 夕暮れどきの避難	29 震災の中で
	4 いじめに当たるのはどれだろう	16 金賞を目指して	30 「看護する」仕事
	5 傍観者でいいのか	17 私はここにいて一倉橋香衣	31 火の島
	6 風評被害	18 よごれた教科書	32 自分の性格が大嫌い！
	7 山に来る資格がない	19 出会い—アンドロイドと不気味の谷	33 詩画にあしたをたくして一星野富弘
	8 SNSに友達の悪口を書くこと	20 裏庭での出来事	34 郷土を彫る
	9 新しいプライド	21 ぼくのふるさと	35 いつわりのバイオリン
	10 父の手作りのベンチ	22 思いやりの日々	
	11 山岳民族の文化を守る	23 ごみ箱をもっと増やして	
	12 見えない親切	24 銀色のシャープペンシル	
		25 私の「ふつう」と、あなたの「ふつう」	
		26 ぼくらの村の未来	

学習方法

- 1 読み物教材において、登場人物への自己関与が中心の学習
- 2 道徳行為に関する体験的な学習
- 3 問題解決的な学習